

(様式4)

◆ (氏名) 吉田 美穂

<所属・職名> 弘前大学大学院教育学研究科 准教授

<略歴>

平成2年～平成27年 神奈川県立高等学校教諭・総括教諭(地歴・公民科)  
平成15年～ 認定NPO法人多文化共生教育ネットワークかながわ会員  
平成21年～平成27年 中央大学兼任講師  
平成27年～ 弘前大学大学院教育学研究科准教授

<これまでの研究活動、外国人児童生徒等教育に関する経験など>

教育社会学を専門として、学校から排除されがちな子ども・若者の教育支援について、生徒指導、キャリア教育、学校と外部人材の連携・協働等の視点から研究しています。

外国人児童生徒等については、神奈川県において高等学校教諭を務める傍ら、認定NPO法人多文化共生教育ネットワークかながわにおいて「外国人教育相談事業」、「多文化教育コーディネーター派遣事業」に携わり、学校・教育委員会と地域人材の連携・協働について実践的に研究してきました。

弘前大学に着任後は、教職大学院科目「教育における社会的包摂」等の授業を担当し、「外国につながる子どもの教育支援」、「子どもの貧困」等のテーマで教育研究に従事しています。令和2年度より文部科学省委託事業「多文化共生に向けた日本語指導の充実に関する調査研究」を受託し、教育学部に多文化リソースルームを設置、散在地域・青森県における多文化共生と日本語指導の充実に向けて、関係機関と連携した支援体制の構築と人材育成に努めています。

また、神奈川県教育委員会・(公財)かながわ国際交流財団・認定NPO法人多文化共生教育ネットワークかながわによる「神奈川県の日本語指導が必要な高校生の進路と校内の支援にかかわる調査」に協力し、高校における日本語指導・キャリア支援について研究するとともに、東京学芸大学の文部科学省委託「高等学校における日本語指導体制整備事業」の調査部会委員を務めています。

[外国人児童生徒等に関わる研究業績]

論文 2021 (共著)	桐村豪文・吉田美穂「多文化共生と日本語指導が必要な子どもの把握—「外国とのつながり」と「学習言語」に着目した調査の在り方」弘前大学教育学部紀要 125 pp.219-230
論文 2020 (共著)	笹森圭子・吉田美穂「学校教育における日本語教育の充実に向けて—弘前大学における新たな日本語教育科目開講と教育学部多文化リソースルーム設置の試み」弘前大学教育学部紀要 124、pp.135-144
論文 2019	吉田美穂「外国人散在地域における外国につながる子どもの教育支援—青森県における受け入れの一事例の分析—」弘前大学教育学部紀要 122、pp.167-177
論文 2014	吉田美穂「高校進学ガイダンスと外国につながる子どものキャリア支援—神奈川県における教育委員会とNPOの協働—」国際ボランティア学会編『ボランティア学研究』14、pp.13-25
論文 2013	吉田美穂「多文化社会・日本と『外国につながる子どもたち』の教育」『中央評論』65(3)、pp.111-125
論文 2011	吉田美穂「外国につながる子ども支援をめぐる地域人材と学校組織の協働：神奈川の多文化教育コーディネーター制度から考える(その2)」中央大学『教育学論集』53、pp.121-153
論文 2010	吉田美穂「外国につながる子ども支援をめぐる地域人材と学校組織の協働：神奈川の多文化教育コーディネーター制度から考える(その1)」中央大学『教育学論集』52、pp.143-179
報告書 2022(共著)	吉田美穂ほか『令和3年度 文部科学省委託事業「多文化共生に向けた日本語指導の充実に関する調査研究」報告書、弘前大学教育学部多文化リソースルーム、全183p
報告書 2022(共著)	吉田美穂ほか『神奈川県「日本語指導が必要な児童生徒の進路と校内の支援にかかわる調査」報告書』かながわ国際交流財団・神奈川県教育委員会・認定NPO法人多文化共生教育ネットワークかながわ

(様式4)

報告書 2021 (共著)	吉田美穂ほか『令和2年度 文部科学省委託事業「多文化共生に向けた日本語指導の充実に 関する調査研究」報告書、弘前大学教育学部多文化リソースルーム、全110p <a href="https://home.hirosaki-u.ac.jp/tabunka/category/report/">https://home.hirosaki-u.ac.jp/tabunka/category/report/</a>
報告書 2021 (共著)	吉田美穂ほか『神奈川県「日本語指導が必要な児童生徒の進路と校内の支援にかかわる調 査」報告書』かながわ国際交流財団・神奈川県教育委員会・認定NPO 法人多文化共生教育 ネットワークかながわ 全99p <a href="https://www.kifjp.org/wp-new/wp-content/uploads/2021/03/houkoku20210331.pdf">https://www.kifjp.org/wp-new/wp-content/uploads/2021/03/houkoku20210331.pdf</a>
報告書 2011 (共著)	吉田美穂『外国につながる市民の子育て支援に関わる調査研究報告書』NPO 法人多文化共 生教育ネットワークかながわ (神奈川県:かながわ子ども・子育て支援推進調査研究事業に よる助成)、全173p
報告書 2010 (共著)	吉田美穂ほか『外国につながりをもつ子どもの教育に関する調査プロジェクト報告書』多 文化共生教育ネットワークかながわ/ (財) かながわ国際交流財団 (かながわ民際協力基 金NGO等協働事業による助成)、全78p

<対応可能学校種>

小学校・中学校・高等学校

<遠隔での指導助言> ※いずれかの□にチェックを記入してください。

対応可       対応不可

<その他(国等の委員歴等)>

平成20年8月	国立教育政策研究所「高等学校における組織的・系統的なキャリア教育の充実に 関する調査研究協力者会議」委員 (平成21年3月まで)
平成21年4月	内閣府「高等学校中途退学者追跡調査」企画分析会議委員 (平成24年3月ま で)
平成22年1月	内閣府「子ども・若者支援地域協議会の運営方策に関する検討会議」委員 (平 成23年3月まで)
平成23年4月	文部科学省「高等学校キャリア教育の手引き作成に関する協力者会議」委員 (平 成24年3月まで)
平成24年3月	内閣府「雇用戦略対話ワーキンググループ」委員 (平成24年6月まで)
平成24年9月	厚生労働省「『地域若者サポートステーション事業』の今後の在り方に関する 検討会」委員 (平成25年2月まで)
平成31年2月	青森県地域の子ども支援ネットワーク会議委員 (座長) (令和2年3月まで)
令和元年10月	青森市いじめ防止対策審議会委員 (会長) (現在に至る)
令和2年7月	青森県子どもの貧困対策等推進委員会委員 (現在に至る)

<関連URL>

<https://home.hirosaki-u.ac.jp/tabunka/>

<講師として担当可能な内容>

別紙「講師として担当可能な内容 (モデルプログラム「養成・研修の内容構成」対応)」のA~Nの書  
く欄に、◎または○を付けてください。

※別紙に○を付けていただいた内容は、一覧表に整理して文部科学省ホームページに掲載いたします。

※ 本様式は文部科学省ホームページに掲載いたします。